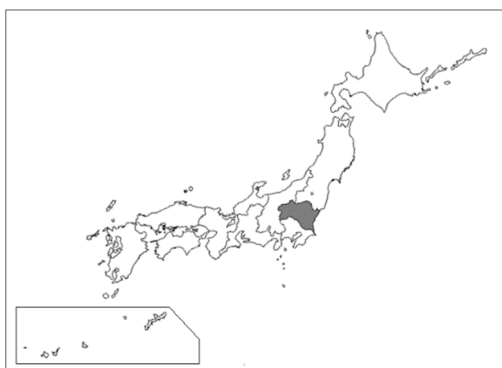


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

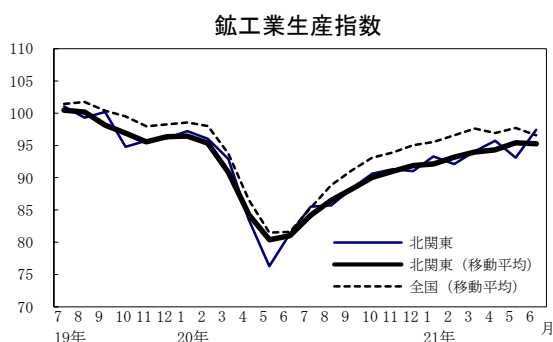
前回からの主要変更点

| | 前回 (令和3年6月) | 今回 (令和3年8月) | |
|------|--|---|---|
| 個人消費 | このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている | サービス支出を中心に弱い動きとなっている | → |
| 雇用情勢 | 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる | 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している | ↑ |

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

4-6月期の鉱工業生産は、「汎・生産・業務用機械」が増加したこと、「石油・石炭、化学、プラ製品」が増加したこと等により、前期比2.4%増となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | | | |
|---------------|--------------|-----------|-----------|------|------|------|
| | | 1-3 月期 | 4-6 月期 | 4月 | 5月 | 6月 |
| 石油・石炭、化学、プラ製品 | 20.1 | ▲1.1 | 3.1 | 1.0 | ▲0.2 | 0.1 |
| 輸送機械 | 18.3 | ▲1.8 | ▲2.7 | ▲5.5 | ▲7.6 | 14.2 |
| 汎・生産・業務用機械 | 17.1 | 6.9 | 7.0 | 7.4 | ▲1.4 | 1.3 |
| 食料品・たばこ | 12.1 | 6.2 | — | ▲0.8 | 0.7 | — |
| 電子デバ、電気・情報通信 | 11.2 | 2.5 | 2.6 | 6.5 | ▲5.7 | 3.3 |
| 鉱工業 | 100.0 | 2.4 | 2.4 | 1.7 | ▲2.7 | 4.6 |

- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。
 3. 北関東は内閣府にて算出。

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 4-6月期、6月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。
 3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

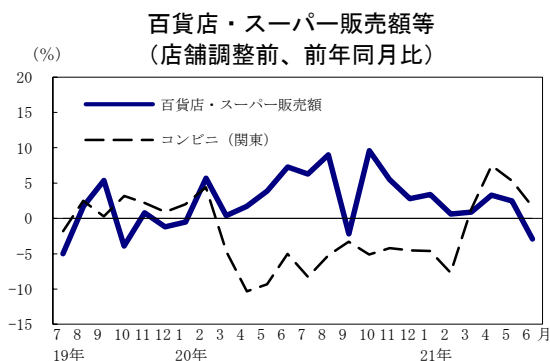
個人消費はサービス支出を中心に弱い動きとなっている。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

4－6月期は前期比0.9%増となった。月別にみると、4月は前月比1.1%減、5月は同2.2%減、6月は同3.4%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、4－6月期は前年同期比0.9%増（前々年同期比5.3%増）となった。月別にみると、4月は前年同月比3.3%増、5月は同2.5%増、6月は同2.9%減となった。



| | 2021年4-6月 | 2021年4月 | 5月 | 6月 |
|--------------|-----------|---------|------|------|
| RDEI（消費*1） | 0.9 | ▲1.1 | ▲2.2 | 3.4 |
| 百貨店・スーパー(*2) | 0.9 | 3.3 | 2.5 | ▲2.9 |
| コンビニ(*3) | 4.8 | 7.5 | 5.3 | 1.7 |
| 乗用車(*4) | 24.0 | 29.4 | 49.4 | 3.9 |
| (季節調整値)(*4) | ▲5.8 | ▲1.4 | ▲5.1 | ▲7.1 |

(備考) 1. 季節調整済前期（月）比（%）

2. 店舗調整前、前年同期（月）比（%）

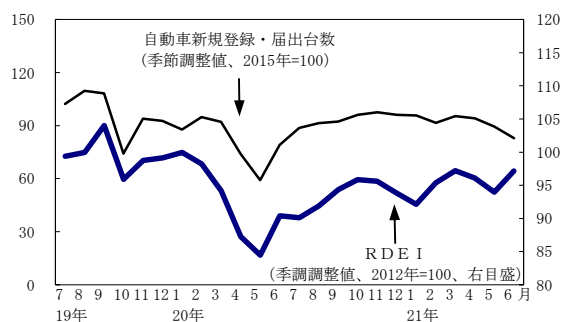
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期（月）比（%）

コンビニは、経済産業省の関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡）の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数（上段は前年同期（月）比（%）

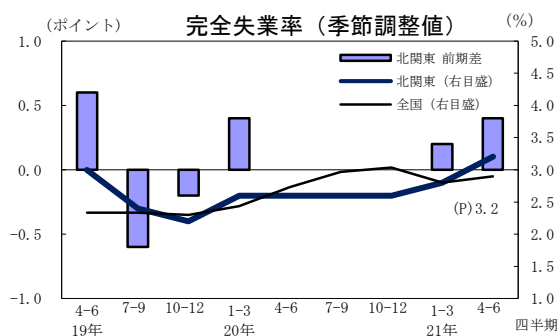
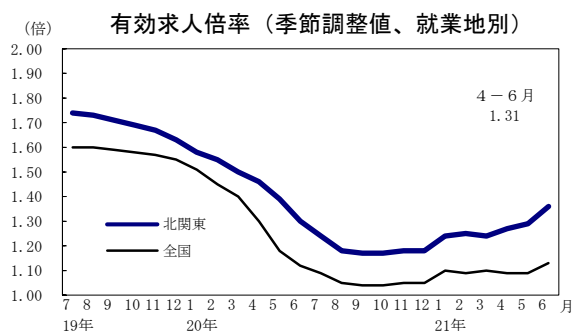
RDEI（消費）と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。

2. 4－6月期の値は暫定値。

